

I. 広東省

1. 人事異動

- 30日午後、黄龍雲・省人代主任主宰の第12期省人代常務委員会第30回会議が開催され、馬興瑞・深圳市党書記が省長代理に任命された（12月31日付『南方日報』）。
- 31日午前、深圳市幹部大会が開催され、許勤・深圳市長が同市党書記に任命された（2017年1月1日付『深圳特区報』）。

2. 省党経済工作会议が閉幕

- 25日、省党経済工作会议が閉幕し、胡春華・省党書記が第3回会議を主宰するとともに、総括の講話を行なった。胡書記は習近平・総書記の一連の重要講話の精神を深く学習・貫徹し、省党経済工作会议の手配に基づき、力を入れて各業務を実行し、中～高速度の経済成長を維持するよう促進し、ミドル～ハイエンドの水準に進まなければならないと強調（12月26日付『南方日報』）。
- 25日午前、朱小丹・省長が上記会議第21グループの討論に出席し、省東西北部地域は真剣に新たな発展理念を実践しなければならないと強調（12月26日付『南方日報』）。

3. 省政府常務会議の開催

- 27日午後、朱小丹・省長主宰の上記会議で、第13次5か年計画期間における教育事業の発展推進等に関する業務を検討し手配（12月28日付『南方日報』）。

4. 第11期省政協常務委員会第18回会議の開催

- 27日、王栄・省政協主席主宰の上記会議が開催され、朱小丹・省長が2017年の「政府活動報告」について説明するとともに、第11期省政協第4回会議における提案の処理状況について報告（12月28日付『南方日報』）。

5. 胡春華・省党書記が公安特別取締りプロジェクト「ハリケーン2016」を見学

- 29日、胡春華・省党書記が「南粵亮劍——広東省公安が際立った刑事犯罪を取り締まる“ハリケーン2016”」という特別プロジェクトの成果を示す展覧会に出席。2016年、全省の公安機関が取り締まった刑事事件は65.46万件（前年比16.46%減）、解決に至った事件は24.46万件（同1.66%増）となっており、各種の特別取締りは十分な成果を示した（12月30日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 広州市第11回党代表大会の開催

- 26日午前、温国輝・市長主宰の上記大会が開催され、任学鋒・市党書記が第10期広州市党委員会を代表し、「歴史の新たなチャンスをつかみ、新たな発展の理念を實踐し、国の重要な中心都市となるべく全面的な水準を向上させるよう推進しよう」と題した報告を行なった（12月27日付『広州日報』）。
- 29日午前、上記会議が閉幕し、同日午後、第11回広州市党委員会第1回全体会議が開催され、改めて任学鋒を書記に選出（12月30日付『広州日報』）。

2. 市政府党組織会議の開催

- 28日午後、温国輝・市長主宰の上記会議が開催され、中央・省党経済工作会议の精神を学習・貫徹し、「政府活動報告」等について討論（12月29日付『広州日報』）。

3. 市党常務委員会会議の開催

- 30日、任学鋒・市党書記主宰の上記会議が開催され、市人代常務委員会党組織、市政協党組織の業務状況を聴取し、「広州市人民代表大会常務委員会活動報告」、「中国人民政治協商会議第12期広州市委員会常務委員会活動報告」について審議し、関連業務について検討・手配した（12月31日付『広州日報』）。

4. 広州市政府と堺ディスプレイ・プロダクト株式会社が戦略的提携

- 30日、市政府とフォックスコン・堺ディスプレイ・プロダクト株式会社が協力枠組み協定に署名し、堺ディスプ

レイの第10.5世代ディスプレイ・オール・エコ産業パークが広州市に拠点を構えることになった。任学鋒・市党書記、温国輝・市長、陳建華・市人代主任、蘇志佳・市政協主席、郭台銘・フォックスコン総裁が署名式に立ち会うとともに、懇談し、温市長と郭総裁がそれぞれ挨拶を行なった。第10.5世代ディスプレイ・オール・エコ産業パーク建設プロジェクトは、投資額が610億元、本年工事を開始し、2019年から大量生産に入り、年間生産額は約1,000億元とする計画（12月31日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. 「クリーンな政治のモデル地区」建設推進座談会の開催

●26日午後、「クリーンな政治のモデル地区」を建設し、効果を持続させるメカニズムを全省で推進するための座談会が深圳市で開催され、この2年の同モデル地区建設の経験を総括し、次の業務の方向性、重点の段取りを行なった。馬興瑞・市党書記、黄先耀・省紀律検査委員会書記が同座談会に出席するとともに講話を行なった（12月28日付『深圳特区報』）。

2. 深圳都市運営・管理センターがテスト運営開始

●27日午前、全国初の新型スマートシティ運営・管理プラットフォームとなる深圳都市運営・管理センターがテスト運営を開始した。これは深圳市が新型スマートシティのベンチマークとなる市を建設するにあたって、重要かつ堅固な一歩を踏み出したことを示している。馬興瑞・市党書記、熊群力・中国電子科学技術集団董事長等がオープニング・セレモニーに出席（12月28日付『深圳特区報』）。

3. 市政府常務会議の開催

●28日午前、許勤・市長主宰の上記会議が開催され、中央・省党経済工作会議、市党常務委員会議の精神を貫徹・実行し、「政府活動報告（たたき台）」等について検討・討論を行なった（12月29日付『深圳特区報』）。

4. 市党常務委員会議の開催

●29日午後、馬興瑞・市党書記主宰の上記会議が開催され、市政府が第6期市人代第3回会議の審議に提出予定の「政府活動報告（審査用）」について討論を行なった（12月30日付『深圳特区報』）。

5. 国家海洋局深圳海洋総合管理モデル地区の除幕式の開催

●30日午後、深圳市で国家海洋局深圳海洋総合管理モデル地区の除幕式が開催された。これにより、深圳市は全国で初めての海洋総合管理モデル地区になり、広東・香港・マカオ・ベイエリア、21世紀海のシルクロードの重要な中継点として、国から与えられた新たな任務、新たな使命を担い、海洋経済を発展させると同時に大きなチャンスを迎える新たなプラットフォームになった。王宏・国家海洋局長、許勤・市長、文斌為・省海洋・漁業庁長が上記式典に出席するとともに挨拶を行なった（12月31日付『深圳特区報』）。